

北地域後援会は我孫子1~4・久寺家・台田・つくし野・並木・根戸・布施のエリア

ロウバイ



# しらかば北

発行責任者  
井上文夫

## 平和と暮らしを守るために頑張ります

北地域後援会長 井上文夫

2月8日に行われた総選挙で、日本共産党は比例区で7議席から減少し、また小選挙区ではただ一つ持っていた沖縄1区の議席を失い全体として4議席に後退しました。

ご支持いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。に、ご期待にこたえることが出来なかったことを残念に思います。

一方、自民党は公示前の198議席から316議席へと大幅に議席を増やし、単独でも憲法改正発議が可能になってしまいました。

高市首相は総選挙結果を受けた記者会見で「少しでも早く憲法改正の賛否を問う国民投票が行われるよう環境を作っていく」と公言しました。戦後かつてない「戦争国家づくり」の危険性が生まれてい

ます。しかし今度の総選挙は、高市首相自身の統一協会との接点や裏金問題、「台湾発言」についても、それらの問題を追及されるのを恐れてテレビの

「党首討論」に欠席しました。

ふわっとした「何かやってくれそう」「笑顔がすてき」などのムードで高支持率を頼りに、抜き打ち選挙を行いました。

自民党圧勝でも、大軍拡や非核三原則の見直し、憲法9条改憲などについて、国民は「白紙委任」をしたわけではありませぬ。また「積極財政」

とうたった国債の大量発行はさらに円安を加速して物価高を誘発して、国民の暮らしはいつそう苦しくなるのではないのでしょうか。

これらの政策は、国民の多くが求める「平和と暮らしを守る」要求から大きくかけ離れており、早晩矛盾が表面化するとは避けられないでしょう。

日本共産党は、高市政権による強権政治を許さず、平和、人権、暮らし、民主主義を守り発展させるために、これからも国民の皆さまとともに闘います。引き続き皆さまのご支援をお願い致します。



講演する五十嵐仁さん

1月27日革新懇主催の「新春の集い」が我孫子市民プラザホールで開催されました。

五十嵐仁さん（法政大学名誉教授）の講演に、80人ほどの皆さんが参加しました。五十嵐仁さん講演の大意です。

衆議院選挙の公示日にあたり、高市氏の暴走と維新との連立の右転換を警告しました。極右反動勢力の暴走阻止

高市早苗氏の登場は、マスメディアの付度による女性首相の話題、カーキ色のタカ、外交の政治利用をしている。

台湾有事での自衛隊の参戦、中国を名指ししての専守防衛をかなぐり捨て先制攻撃の宣言など、右傾化を暴走している。

経済の再建と民主主義の擁護を  
経済では、積極財政で赤字国債の濫発、減税バラマキと財政赤字の増大などで円安・インフレの加速を進めている。  
トランプの関税には無批判でアメリカへの80兆円の投資受け入れ、まさに対米従属です。  
少子高齢化の中で外国人労働者は不可欠にも関わらず、参政党に同調して、外国人の排斥・差別と分断を持ち込んでいる。

選挙結果を踏まえた上で、改めて革新三目標を想起し、高市政権による右傾化、情報戦の日常の中で、新しい政治の在り方を探り、真実を学び、知らせる重要性を痛感した。それには知的水準を高め、だまされない自分、だまさない自分になろう、政治は変えられる、変えてきた、諦めてはならない、と鼓舞された。平和と安全、日本の自然と文化を護り抜く。「革新懇新春の集い」五十嵐仁さんの講演で思いを新たにしたい。  
(江)

### 花火

衆議院選挙の争点の一つに外国人問題があった。少子化が進み、労働力が年々低下

している日本の現状では、外国人の受け入れは、ますます必要となっている▼在留外国人は395万7千人（2025年10月）で、就労者は257万1千人である（厚労省）。外国人の就労については、特定技能制度で一定の専門性や技能を持つものとして多くの職場で受け入れている。現在は33万3千人が飲食業・製造業・介護職・農業などに従事している（就労期限はない）▼その他、技能実習生が、技術・技能を習得し帰国後自国に貢献するとして、建設業・農業のほか、多くの作業に従事している47万人（就労期限3〜5年）がいる。最近、日常いろいろな場で外国人と接することが多くなった▼外国人に対する一部の党の政策、見解はルールを守らない、犯罪が多いなどと、外国人制限・差別を強調するような傾向にあるようだ▼トラブルが多いのは言語の能力不足、文化・価値観の違いによる。教育、コミュニケーションの充実など共生社会実現への施策が求められる。  
(江)

日本共産党我孫子市議団のホームページのサイトは <https://jcp-abiko.com/> です。スマホのQRコードはこちらから。→



### 第5回 我孫子市議と語るつどいに参加して

50人集まった。市議さんが7人参加した。討論も活発だった。集会は成功した。

「第5回 我孫子市議と語るつどい」が1月24日、我孫子市民プラザ・ホールで開かれた。

主催者「市民の声 あびこ」はこの集会で2つのことを企画した。一つは「新リサイクルセンター整備について」、もう一つは「我孫子市議任期1/2の成果を問う」である。



る。

問題などの指摘が出るなど「新リサイクルセンター建設」問題についての話し合いが行われた。

さらに主催者「市民の声 あびこ」からのこの計画に対する疑問点も提示した。

①(処理施設を)全部一度に作り替える必要があるのか？

粗大ゴミ処理施設は1977年から稼働で50年たっているのに建て替えは納得がいくが、プラスチック中間処理施設は2001年からの稼働でまだ25年しかたっていない。なぜ建て替える必要があるのか？

②今建て替えをしなければならぬ理由は何か？

リサイクルセンターより先に手当が必要な施設はないのか。小中学校、市庁舎など。

市議さんたちもしっかり発言した。2月16日に新クリーンセンターについての勉強会があること、市側が2030年の稼働を考えていること、そして建て替える必要があるのは老朽化した粗大ゴミ施設だけではないのかなどの意見が語られた。

専門的知識を持つ市民の側からもフルスペックでやるのは

次にもう一つの企画、「市議任期1/2の成果を問う」という企画は時宜にあった適切な企画だった。主催者「市民の声 あびこ」は事前に24人の市議全員に4項目の質問を送り、その回答を求めた。

4つの項目は

①選挙公約の中で、特に力を入れた取り組みは何ですか。その取り組みの結果はいかがですか。

②これからの2年間に力を入れたことは何ですか。

③公約以外で取り組んでいることはありますか。

④議会運営の中で、改善したいことはありますか。

このアンケートに答えた議員が11人、回答しなかった議員が13人だった。もちろん集会に参加した7人の議員は全員アンケートに回答していた。7人の議員の名前を記しておく。

飯塚、岩井、内田、芝田、西川、深井、船橋議員である。

アンケートの結果についても小林さんがスライド化して紹介した。

この市議に問う企画の場合は、市議7人が前に出て並び、アンケート

の回答について、それぞれが補足説

という観点からアビバス問題、公的建設費の単価の高さや市の契約における随意契約の多さの問題、市民の高齢化問題、外国人居住者との共生問題、児童・生徒の不登校問題などさまざまな課題が議員側から提示された。

市民の側からもそれぞれの課題に対し意見が述べられた。

議員任期半ばの時期に選挙時の「公約」について、市民がチェックすることは大きな意味がある。(竹内)

アヤメの仲間を学名で呼ぶと、イリスとなる。イリスは世界的に見ると乾燥地の植物だ。いま世界の耳目を集めるイスラエルはイリスの宝庫だ。多くの種類の中で、マリアエは特に乾燥の激しい南部ネゲブ砂漠の近くに花開く。爆撃されているガザから約20kmしか離れていない保護区で見事なマリアエを見た。

このマリアエを見た時は、ガザが今のように徹底的に破壊されるとは想像もできなかった。イスラエルとパレスティナに平和が訪れることを祈るばかりだ。

## 住まいでの困りごと

「ドアやふすまの立て付けが悪くなった」「庭木が伸び過ぎている」など住まいのことで困ったことはありませんか。

下記にご連絡いただければ、共産党の市議会議員・船橋まさるさんに取り次ぎます。船橋議員は40年にわたり大手建設会社の現場監督を経験した建築のエキスパートです。これまでも、水漏れなど2件の相談があり、無事解決してご依頼の方から大変喜ばれました。

【連絡先】

井上 090-5193-0601  
岩切 04-7185-3373

## 富山 稔 世界のワイルドフラワー (11)



イリス・マリアエ (Iris mariae)  
2月 イスラエル・ガザの東の保護区で撮影